

(市長答弁)

西田議員 1001

作成部局 秘書室

No.1

質問要旨 「投票率向上のための取組」と「自身の選挙での勝利」との兼ね合い、あるいは矛盾についてどのように考えているのか。

---

答弁要旨

市長選挙の投票率<sup>の</sup>低下<sup>は、</sup>

本当

に残念に思っております。

もとより、多くの市民の皆様が市政に関心を持っていただけるようまちづくりを進めることが重要と考え、市政運営にあたっているなか、選挙で一票を投じるという行為は、まちづくりに参画いただく重要な手段のひとつでありますことから、市長選挙についても、多くの方に関心を寄せていただき、投票していただきたいと考えております。

ご承知のとおり、選挙にかかる取組については、独立機関である選挙管理委員会が所管し決定されるものですが、私としましても、投票率向上に向けての取組を強く期待しているところです。

(次ページへ続く)

なお、私は自身が立候補した選挙はもちろん、いずれの選挙においても一貫して投票率は高い方が望ましいと考えており、その考えに何らかの矛盾を感じたことはありません。

以上

(能島教育次長答弁)

西田議員 1002 作成部局 教育委員会事務局 No.1

質問要旨 尼崎市教育振興基本計画の中の「必ずしも教員が担わなくてもよいと考えられる業務の軽減」という文言を踏まえ、教員の業務軽減を図るために教育委員会が行った具体的な取組みと、その成果・課題は何か。

---

### 答弁要旨

文部科学省において、新しい時代の教育に向けた持続可能な学校指導・運営体制の構築のために、学校における働き方改革が示され、本市においても教育委員会と学校が一体となり、これまでの働き方の見直しを行ってきました。

具体的には、<sup>教材の印刷</sup> など、必ずしも教員が担わなくてもよい事務的業務を軽減するため、各校にスクールサポートスタッフを配置したほか、中学校の部活動に外部指導員や部活動指導員などの人的支援を行うことで、教員が子どもと向き合う業務に注力し、教育活動を充実させるための時間の確保に努めてまいりました。

(次ページへ続く)

また、給食費を公会計化し、業務自体を学校外に移管することでも業務量の軽減に努めてまいりました。

さらに、業務の効率化や勤務時間の適正化に向け、ICT 環境の整備や IC カードによる出退勤の管理、勤務時間外の自動音声応答サービスの導入、定時退勤日の設定等も進めてきたところです。

こうした取組を進めてきたことから、学校からは、教員の負担軽減につながっているという声がある一方、多くの教員が、これらの業務改善で新たに捻出された時間全てを、子どもと向き合う時間と捉え、自らの生活の質を高めるための時間として活用できておらず、コロナ対応という新たな要因も相まって、目に見える形での超過勤務の削減にはつながっていないことが課題であると考えております。

教育委員会といたしましては、今後も引き続き、教員の負担軽減に向け、学校現場の意見も踏まえながら、取組を進めてまいります。

以上

質問要旨 今後、補助金等に関する統括的な管理部署を設け、統一的なルールを策定する必要があると考えるが、どうか。

---

### 答弁要旨

議員ご指摘のとおり、現状、補助金等に関する事務については、統括的な管理部署や統一的なルールは設けておらず、各所管課が補助金ごとに策定する規程等に基づき執行していることから、規定する内容等にばらつきが生じております。

そうした中、令和3年度の包括外部監査におきましても同様の指摘を受けておりますことから、さらなる事務の適正化・効率化に向けて、関連部署が連携し、統一的なルールの策定を進めてまいります。

なお、統括的な管理部署につきましては、新たな設置とせず、現組織体制の中で主体となる部署を定める方向で検討してまいります。

以上

質問要旨 4年前の市長選挙期間中の市長職務代理者  
とその職務内容は。

---

答弁要旨

選挙期間中も、携帯電話やSNSを利用して連絡、相談  
ができるため、4年前の市長選挙期間中、市長職務代理  
者は置いておりません。

(市長答弁)

西田議員 2002 作成部局 秘書室 No.1

質問要旨 西宮市長選挙で石井市長を応援した立場と  
意図は。公職選挙法の「公務員等の地位利用による  
選挙運動の禁止」についての考えは。

---

### 答弁要旨

先日の西宮市長選挙に際しては、隣接市の市長として信頼関係を築き、さまざまな連携を積極的に進めてきた立場から、石井市長の仕事ぶりや政治姿勢について私なりに思うところを西宮市民の方にお伝えしたいとの思いから、街頭演説に参加しました。

選挙で選ばれた政治家である市長が、選挙において街頭応援演説に立つことは、公職選挙法における「公務員等の地位利用による選挙運動の禁止」にはあたらないものと認識しております。

以上

西田議員 2003

作成部局 秘書室

No.1

質問要旨 市長の在任の期数に関する条例の制定についての見解は。

---

### 答弁要旨

一般的に、就任当初の市長には新たな観点で既存事業を見直すことができるなどの強みがあり、一方で、期数を重ねますと、当初にはなかった知識や経験が蓄積されていくこととなります。

また、市民がまちのあり方を選択する際には、転換を期待される局面もあれば、安定的・継続的な取組みを期待される局面もあると考えられ、市長の在任期間につきましても、個別、その政治家によって、また、その自治体が置かれている状況によって、求められるものが異なるのではないかと思います。

従いまして、私個人としましては、条例で固定的に制限をするよりも、最終的には有権者が判断をしていくことが妥当ではないかと考えております。

以上



(高橋教育次長答弁)

西田議員 2004 作成部局 教育委員会事務局 No.1

質問要旨 校園長の学校現場における裁量は、学校事故への対応も含め、どの程度認められているのか。

---

### 答弁要旨

校園長には、学校教育法等に基づき、学校園の教育目標の策定や子どもの資質・能力の育成に向け、自校の授業や学校行事等の教育課程を編成する権限、また、子どもたちが安心・安全な学校生活を送れるよう、施設等を適切に管理していく責務など、特色ある学校づくりを行うための学校運営及び学校教育活動全般に幅広い裁量が認められております。

子どもや地域の実情に応じた魅力ある教育活動を展開するためには、校園長としてのリーダーシップを発揮するとともに、常に様々な事象に対する危機管理意識を高め、学校事故等の未然防止、早期対応が不可欠であると考えております。

しかしながら、学校事故など緊急性の高い事案が発生した場合には、学校園だけで解決することが困難な事案も多く、教育委員会と共に対応していくことが重要であると考えております。

(以 上)

(高橋教育次長答弁)

西田議員 2005 作成部局 教育委員会事務局 No.1

質問要旨 専門家への報酬体系はどのようになっているのか。また、今後の予算の見通しはどうか。

---

答弁要旨

学校支援専門家派遣事業における専門家への報酬については、派遣時間1時間当たり9千円となっております。

今年度の予算額は108万円で、合計派遣時間は120時間相当分となっております。令和3年度の実績は、合計107時間54件の派遣を行い、1回あたり平均約2時間となっております。

学校などから、弁護士のみならず医療や教育に関する専門家の派遣も需要が高く、毎年、予算額に迫る派遣実績となっておりますので、今後も少なくとも同程度の予算は確保する必要があると考えております。

以上

(教育長答弁)

西田議員 2006 作成部局 教育委員会事務局 No.1

質問要旨 校長が在籍する児童等に対する重大な被害を認識した場合、校長自身の判断で所轄警察署に通報しているのか。また、教育委員会または教育長が、校長の判断を指導することはあるのか。

---

答弁要旨

事案によっては、校長の判断により早期に所轄警察署や少年サポートセンターに相談のうえ、連携して対応する必要がある場合や、児童生徒の生命・身体の安全がおびやかされる場合には、直ちに通報する必要があると考えており、<sup>それと</sup>同時に遅滞なく教育委員会にも報告を求めています。

重大な事案を把握した場合、学校で抱え込むことなく、私を筆頭<sup>学校と</sup>に教育委員会と<sup>かつ</sup>速やかに連携し、問題解決に向けた適切な対応ができるよう指導助言をおこなっております。

以上

質問要旨 地域の稼ぐ力が向上しない観光施策は失策ではないか。見解は。

---

答弁要旨

長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、地域経済が大きな打撃を受ける中、観光における地域の稼ぐ力が向上したかどうかを判断するのは、困難な状況でございます。

その一方で、尼崎城が一般公開した令和元年度につきまして、前年度と比べ、観光GDP、観光消費額とも大きく増加するなど、一定の経済的効果を生み出していると認識しております。

今後におきましては、施策評価などにおいて、指標として具体的数値を掲げ、稼ぐ力の検証を行うなど、説明責任を果たしてまいりたいと考えております。

以上

質問要旨 尼崎 46 万市民の血税、いつになれば流血は止まるのか。

---

答弁要旨

先ほどお答えいたしましたとおり、尼崎城の一般公開を契機に、観光においては、一定の稼ぐ力を生み出していると考えております。

また、令和5年度からのエリアマネジメントによる阪神尼崎駅周辺の賑わいの創出に加え、令和7年の大阪・関西万博の開催や阪神タイガースファーム施設の移転等に向け、あまがさき観光局が作成したロードマップに基づき、地域一体となった戦略的な観光地域づくりに取り組む中、稼ぐ力の向上を目指してまいりたいと考えております。

以上